

キジハタの放流について、下記の内容で大阪府を通じて令和6年4月12日に報道提供を行いました。

栽培漁業センターで生まれ育った

キジハタ（あこう）の稚魚6万尾を放流

（公財）大阪府漁業振興基金栽培事業場では、大阪湾の水産資源を増やすため、ヒラメやキジハタなどの稚魚を生産し、自然の海に順応できる大きさまで成長させて放流する「栽培漁業」を推進しています。

このたび、キジハタ稚魚を下記により放流を行います。

記

1 放流対象種

キジハタ種苗（中間育成した種苗）

2 放流尾数

計 約60,000尾（全長10cm）

3 放流日時、場所、および放流尾数：

4月16日（火）	10：00～	泉南市岡田地先	約3,000尾
〃	11：30～	泉佐野市地先	約3,000尾
〃	13：30～	田尻町地先	約3,000尾
〃	15：00～	岸和田市地先	約3,000尾
4月17日（水）	9：30～	岸和田市春木地先	約3,000尾
〃	11：00～	忠岡町地先	約3,000尾
〃	13：00～	泉大津市地先	約3,000尾
〃	14：30～	高石市地先	約3,000尾
4月18日（木）	10：00～	堺市浜寺地先	約3,000尾
〃	11：30～	堺市地先	約3,000尾
〃	13：30～	大阪住吉地先	約3,000尾
〃	15：00～	大阪市地先	約3,000尾
4月19日（金）	10：00～	泉南市樽井地先	約3,000尾
〃	11：00～	岬町谷川地先	約3,000尾
〃	13：00～	岬町小島地先	約3,000尾
〃	13：45～	阪南市尾崎地先	約3,000尾
4月24日（水）	10：00～	岬町深日地先	約3,000尾
〃	11：00～	岬町淡輪地先	約3,000尾

〃	14:00～	阪南市箱作地先	約3,000尾
〃	15:00～	阪南市西鳥取地先	約3,000尾
		計	約60,000尾

4 放流後の成長

3年で全長約30cm(約500g)に成長し、漁獲対象サイズになります。

5 放流効果の調査

キジハタの漁獲量等の調査は、(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所水産技術センターが行います。

6 その他

種苗生産については、(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所水産技術センターの技術指導を受けています。

(注) 取材を希望される場合は、事前に栽培漁業センター(TEL072-495-0516)まで御連絡ください。

放流場所等の詳細について説明させていただきます。

なお、放流に関しましては、キジハタ種苗の生産状況により尾数が増減する場合があります。

また、当日の気象状況により、放流方法や日程、場所等を変更する場合があります。



【放流するキジハタ稚魚】



【キジハタの放流風景】